

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の5類への移行予定により、4月後半からは人流が活発になると想定している。店舗への来客数、売上の増加を見込める。
	◎	乗用車販売店（販売担当）	・観光地に立地しているため、新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなり、観光客が来るようになって、ホテルやレストラン関係は人手不足で悲鳴を上げている状態なので、これからずっと良くなる。
	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・マスクが外せるようになると一気に解放されて、4年前の夏に戻ると思われる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行も5月に控えており、新年度の宴会受注件数も多くなってきている。また1件当たりの人数も8人増と良い傾向である。宿泊に関しても、全国旅行支援の延長もあって、売上の下支えとなっているほか、団体客の受入れも増えており、人の動きがはっきりと感じられる。
	○	商店街（代表者）	・商店街では、行動制限緩和のなか、コロナ禍で余儀なく止めていたイベントが開催の運びとなり、にぎわいを取り戻せるという期待感が大きい。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・マスク着用ルールの緩和や全国旅行支援の再延長など、旅行に対する人々の捉え方が肯定的となり、想定以上の旅行客が押し寄せている。海外旅行への懸念がもう少し払拭されるまでは、国内旅行は引き続き盛況なのではないか。しかし、宿泊、飲食、物販等の観光業の人手不足は深刻で、入込客を絞らざるを得ない事業所も多いと聞いている。観光業の景気を良くするためには、旅行支援ではなく、人材確保や定着を促す施策に重点を置くフェーズに移っているのではないか。
	○	百貨店（店長）	・人流は回復傾向にあるため、期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・暖かくなると来客数が増えるため、やや良くなる。
	○	衣料品専門店（統括）	・客は今年の祭りはあるのだろうかと思いつつ品物を見ているようである。これから夏に向けて夏祭り、秋祭りの準備に入る時期になるが、それに伴って注文が出てくるのではないかと考えている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・年度末から年度明けにかけて車両受注が増えてきており、受注残も増えている。
	○	一般レストラン（経営者）	・物価高もあるものの、コロナ前に戻ってきた感覚があり、緩やかに良くなるのではないか。
	○	一般レストラン（経営者）	・物価高の状況下でも、行楽シーズンに入れば一時的に上がることは、前年の売上からも予想できる。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）は日本チームの活躍が目立っていた。スポーツ観戦やコンサート等の人数制限もなくなり、ここ2～3年と比べ、グッズの売上や観客動員数が飛躍的に伸びている。確実にいろいろな物への経済効果等もあると思う。実際に、先日訪れた隣県の観光地でも、かなり多くのインバウンド客の買物姿を見受けたので、景気は確実に良くなっていく。
	○	都市型ホテル（経営者）	・若干ながら、少人数の飲食客は戻ってきているので、やや良くなる。
	○	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門は全国旅行支援もあり、宴会部門では総会シーズンの予約状況も前年比350%で推移している。
	○	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減り、5月には感染法上の分類が2類相当から5類に移行するので、堂々とイベント等が開催できる環境が整ってきている。
	○	旅行代理店（経営者）	・受注が前年実績を超えたので、ここから先の受注はプラスである。前年、前々年共に、この時期は新型コロナウイルスの新規感染者数が多少増えたが、感染が拡大すると旅行の取消しが多くなるため、やや良くなるとしている。
	○	旅行代理店（所長）	・マスク着用の見直しによる制限解除や新型コロナウイルス感染症の5類移行も視野に、右肩上がりが必要の盛り上がり期待できる。
○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなる。	
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和に合わせて、春の暖かさも早く訪れていることから、旅行等の外出機会が増えてくる。	

○	ゴルフ練習場（経営者）	・しばらくは観光地などで、人出が見込まれる。
○	設計事務所（所長）	・社会全体で、新型コロナウイルス感染症で衰退した分を取り戻そうとする動きがある。
○	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・新年度序盤は、補助金や助成金を利用した依頼が多くなると見込んでいる。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・木々の緑が目にも染みる頃を迎え、人の動きも良くなってくると思うが、なかなか簡単にはいかず、変わらない。
□	百貨店（営業担当）	・マスク着用の見直しによる緩和や新型コロナウイルス感染症の分類が5類へ移行する等、外出機会増加に伴う需要拡大が期待できる。その一方で、物価高に伴う回復鈍化が懸念される。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息化に向けた、ファッション等の売上の持ち直しが見られる。一方、食料品を中心とした値上げラッシュがこれからも続くことが想定されるため、厳しい状況がすぐに改善するとは思えない。
□	スーパー（総務担当）	・物価上昇が続くものの、政府も対応策を提案しているため、大きくは変動しないのではないかと。
□	スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルス感染症の分類も5類に引き下げられる予定で、イベントも多くなり注文も増えてきているが、新型コロナウイルス感染症発生前ほどには戻っていない。物価高による節約志向は変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・来客数が戻り、新型コロナウイルス感染症も落ち着いており、今後の売上の上昇に期待したい。しかし、電気代が前年比1.7倍に高騰し、利益は大きく圧迫され減少している。諸経費や夏の電気代高騰、それに続く人件費の上昇を考えると、今年の決算は、売上は伸びるものの赤字になるかと心配している。
□	コンビニ（店長）	・来客数は同程度で推移するとみているが、物価の上昇率が売上の上昇よりも高いと思うので、心配である。
□	衣料品専門店（販売担当）	・気温が上がってきて何となく外出しようという気分になると思うが、残念ながら今月が本当に悪かったので、これがそのままなのかという恐怖感が相当拭えない。希望的観測としては、この暖かさに連れて人の流れが出てくれることを期待してやまない。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、北米向けの輸出が多く、工場の稼働率は比較的順調である。したがって、街の雰囲気も生きている感じはある。
□	自動車備品販売店（経営者）	・繁忙期になぜ購買量が下がっているのか、原因が余り明確ではない。消費者のマインドが冷え込んでいると思う。それが、どのようところで、盛り上がりつつ回復してくるのか、ちょっと読めない。この先は、上がるとも下がるともいえず、良い方向に向かう見込みは立っていない。
□	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきているので、ゴールデンウィークに向けて、人流も多少は外出に向かうかもしれないが、全体でみれば景気が良くなるとは言い難い。
□	住関連専門店（仕入担当）	・ゴールデンウィークまでは、支出の比率はレジャー関係で埋められるとみており、当面は来客数減少は継続すると想定している。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・客の動きが出てきたことは良い傾向である。社会行事の動きは活発になってきているものの、このところのコストアップで、客の買物もシビアになってきている。また、メーカーや問屋は在庫調整しているようで、的確な仕入体制を取らなければならない。売上予測と仕入れのバランスがより大切になっていく。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・もう少し暖かくなってくれば、人の動きも活発になるのではないかと。
□	都市型ホテル（総支配人）	・宿泊や料飲部門共に、受注状況からみても当面は好調な状況が続く。
□	タクシー運転手	・ドライバーの数が減っていても、売上は変わらない。仕事が減ってきている。
□	通信会社（経営者）	・国は新型コロナウイルス感染症の影響での低迷は明けたかのように伝えているが、地方では改善の兆しさえ見えない。
□	通信会社（総務担当）	・顧客の過半数を占める中高年の客はインフラ、食料品等の価格が上昇し続ける間は、他の消費は極力抑える傾向にある。また、若年層は新商品が出る夏までは、動きが鈍る。

	<input type="checkbox"/>	通信会社（局長）	・先行きが不透明なので、消費行動を控える状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・今後も物価高の影響はあると思うが、新年度が始まり暖かくなって、人の動きが活発になることに期待したい。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・地方の町では、ここ何年も景気対策を論じる雰囲気はなく、毎日が無事に過ぎればよいといったところである。政治に期待しても無理なのだろうか。せめて犯罪が起こらないようにと、日々願っている。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・消費マインドに、サービス料金の値上げもやむなしと容認する変化の兆しがみられる。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（従業員）	・景気の良くなる話を聞いたことがない。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着きつつあるものの、状況や生活習慣が劇的に変化することはない。この3年間の状態から、なかなか変化しないことが予想される。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・最近、物件の引き合いが非常に少なくなっている。貸店舗等も少ないが、特に、中古住宅についての引き合い等がない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他専門店（総務担当）	・単価上昇で、やや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食では、食材費や水道光熱費等コスト全般が上昇しており、収支面の厳しさは増している。なかなか賃上げを検討できる状況ではない。新年度からの賃上げ実施先が増えてくると、賃金格差が広がり、人材確保面でも、厳しさが増してしまうことが懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・相変わらず、仕入コストは高止まり状態が続いており、4月からやむを得ず値上げをするが、販売量低下が予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・コスト面の不安から、やや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・給与の上昇や生活支援が整わないことには、整備を安く済ませようという傾向は続く。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔家電〕（経営者）	・景気が良くなる傾向は全然ない。物価高はいまだに変わらないし、商材の動きも今一つである。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス感染症の終息感から、内から外へと消費行動に変化がみられる。
企業動向関連 (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車の生産ばん回計画も動き始め、増産対応が本格化の見込みである。また、ロボット関連の新規増産が立ち上がる予定である。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・取引先から、7月から単価を上げてくれるという話が出ている。今のところ1件だけだが、当社売上に占める割合が多い取引先なので、上げてもらえば幾らか良くなるのではないかと。しかし、仕事量が少なくなっているため、受注が増えるように、機械の設備投資を行い、これから努力する。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・いろいろな分野からインターネット経由で試作依頼があり、業界の動きを感じている。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・4月に入ると、レジャー用品、キャンプ用品、バーベキュー用品等の物量は、前年並みを確保する予定である。また、園芸用品等や、夏物家電の初回エアコンの物量も、前年並みの確保見込みである。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・ウクライナ戦争がまだしばらくは終わらないことや、世界経済も回りつつあるという認識が、日常になりつつある。地域経済や個人消費はやや上向くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注件数や金額は順調に増加しており、先行きに明るさが出てきている。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・原材料の値上がり分を販売価格に転嫁しにくい状況にある。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・受注量の推移から推測すると変わらない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・コロナ禍後で通常の仕事に戻っているはずなのに電子部品が足りなくて動けない状況である。電線、端子、コネクタ、IC、様々な分野の物が全て不足しているため、状況はちょっと厳しくなる。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月前よりは若干良くなってきているが、今後2～3か月前の取引先や受注量等の動きは、全く分からない。

	□	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・主要取引先からの予定生産量が、当月になって減産となる事態が続いている。1～2週間先の予定が変更になり、受注がいまだに読めない状況である。
	□	その他製造業〔消防用品〕 (営業担当)	・まだしばらくは新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考える。
	□	司法書士	・コロナ禍を何とかしのいできたので、期待を含めて来年度はもう少し良くなってくれればと思うが、変わるほどではないだろうという結論である。
	□	社会保険労務士	・大手企業の給与は大幅に上がるようである。大手だけでも夏のボーナスも同様に増額が続けば、良い流れになる。
	▲	建設業(総務担当)	・年度の繰越工事も少なく、工事量にも大変不安がある。
	▲	不動産業(管理担当)	・来月以降に入居予定のテナントがあるビルもあるが、一方で、今月、来月以降で退去するテナントもある。資機材の値上げや賃上げの検討もあるので、経費の増加が予定されている。
	×	一般機械器具製造業(経営者)	・同業他社等で残念ながら倒産という会社も出始めている。3000万円の無利子無利息の融資の返済が始まり、中小企業で融資を受けた会社は、今後返済で大変になるのではないかと。
	×	建設業(開発担当)	・年々受注が厳しくなっている。景気は厳しくなっている。
雇用 関連 (北関東)	◎	人材派遣会社(経営者)	・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が伸び悩んでいるようで、接種する方も少なくなっている。各観光地では客足が伸びてきており、季節柄、購買力や観光地への散策や訪問等の人数も増えて、小売、食品、生鮮食料品等を中心とした伸びがある。新年度に観桜会や歓迎会もあると思われる。全般的に好調かと見込んでいる。
	○	人材派遣会社(社員)	・大きな取引先の宿泊施設関係や当地区の物産展などの話を聞くと、やはりコロナも落ち着いて旅行支援もあってということで、取引量は増えている。先行きは多分良くなるのではないかとという印象ではあるが、物価高で仕入関係の高騰もあり、やや先行き不透明な部分もあるものの、期待感がある。
	○	人材派遣会社(管理担当)	・自動車関連の生産が増加し、労働者派遣が増える。また、食品関連の製造も増加し、派遣数が増える予定である。
	□	人材派遣会社(社員)	・大企業はおおむね賃上げできるようだが、中小企業は厳しい状況が続いている。求職者も賃金のアップがあるか否かを重視して仕事先を選択している傾向が見受けられるため、中小企業の取引先への交渉が難しく、結果としてスタッフの離職につながっている。
	□	人材派遣会社(従業員)	・人材の依頼はあっても求職者がいない。人材が集まらないので、変わらない。
	□	職業安定所(職員)	・新規求人は、持ち直しの動きが広がりつつあるものの、業種によって人手不足感が増している。また、電気代高騰、物価上昇等の不安要因により、引き続き、雇用に与える影響等に留意が必要だと思われる。
	□	学校〔専門学校〕(副校長)	・年度切替えのため、特に現状では、今後の情勢が見えにくいと感じている。
	▲	—	—
	×	職業安定所(職員)	・米国の銀行やスイスの大手銀行が、既に破綻していることが要因である。